

スチール製卓上フード
仕様書

令和7年11月

地方独立行政法人大阪産業技術研究所
森之宮センター

1. 調達背景および目的

本装置は、研究ならびに試験等の業務における作業者の安全を図るために、試料の合成や作製作業環境中に放出された有機溶剤の蒸気や排気ガスなどを排出することを目的とした装置である。

2. 調達物品の名称、数量

名称：スチール製卓上フード

数量：1 式

3. 機器の性能、機能、規格等

3-1 卓上フード本体構造

3-1-1 幅 3000 mm×奥行 1500 mm の既設実験台の上に設置できること。ただし、支柱等の設置に必要な部分を除いて実験台の作業スペースが狭くならないこと。

3-1-2 内部天井高さは実験台面から 1300 mm 以上であること。

3-1-3 本体の主たる部分にはスチールなどの丈夫な材質のものをを用い、酸やアルカリによって容易に腐食しないよう塗装をしておくこと。

3-1-4 卓上フード上部に「3-4」に規定する仕様の排気ファンを 2 台設置すること。

3-1-5 3000 mm の片面を 2 分割し、両面で 4 分割とし、それぞれに「3-2」に定める扉を設置すること。

3-1-6 既設の棚や配管（水道、ガス、電気）を撤去しないこと。

3-2 卓上フード扉

3-2-1 任意の高さで止められる上下可動式扉を片面 2 枚、合計 4 枚設置すること。

3-2-2 扉には透明強化ガラス 5.0 mm 以上を使用すること。

3-2-3 扉の最大開口幅が 850 mm 以上あること。

3-2-4 扉の落下防止措置を講じること。

3-2-5 扉に指詰め防止措置を講じること。

3-3 照明

3-3-1 卓上フード内部に LED 照明を設置すること。

3-3-2 棚を挟んで東西に各 2 台以上、両面で合計 4 台以上 LED 照明を設置すること。

3-3-3 本体外部に LED 照明の台数と同数のスイッチを設置し、LED 照明を個別に On-Off できること。

3-4 排気ファン

3-4-1 排気ファンは個別に強弱 2 段階の能力強度切り替えが可能であること。

- 3-4-2 最大排気時の作動音が1台当り 50 dB 以下であること。
- 3-4-3 納入時検査で扉1枚を 40 cm 開けた状態で開口面の風速が常時 0.2 m/sec 以上であること。
- 3-4-4 本体外部2箇所には排気ファンのスイッチを設置し、排気ファンを個別に On-Off できること。

3-5 排気ダクト配管

- 3-5-1 排気のための配管を卓上フードから換気扇設置用の穴まで行うこと。
- 3-5-2 既設の換気扇をはずして、化粧板で取り付けること。
- 3-5-3 排気用配管内に外部からの鳥などが侵入しないように対策を講じること。

4. 設置場所

大阪府大阪市城東区森之宮1丁目6番50号
地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター
研究本棟5階513号室 有機合成実験室

5. 納入期限

令和8年3月31日（火）

6. 検査

検査項目は以下の通りとする。

- ・員数検査
- ・外観検査
- ・性能検査

なお、検査用の試料および消耗品は受注者が用意すること。

7. 職員研修

研修として、本システムについての使用方法等について当研究所職員に対して説明を行うこと。なお、研修用の資料、試料および消耗品等が必要な場合は、受注者が用意すること。

8. その他

- 8-1 装置の搬入、設置または据え付け、調整、研修および検収に要する諸費用は受注者の負担とし、受注者が所定の納入期限までに速やかに行うこと。
- 8-2 装置の搬入、設置または据え付け、付帯工事、接続作業および調整等を行うにあたっては、事前に担当者とは十分協議すること。また、これらの実施にあたっては、当研究所の業務に支障をきたさないよう十分に配慮すると共に、万一、業務や建物設備等に損害が生じた場合は、受注者の責任において、これを補償すること。

- 8-3 装置の操作方法に対して疑義が生じた場合には、日本国内にサービス拠点を有し、技術員による派遣指導、教育、技術的相談またはその他の適切な方法によって速やかに応じられる体制が整えられていること。
- 8-4 装置納入後 1 年を装置の保証期間とし、正常な使用状況において発生した故障については、速やかに無償にて修理または交換すること。
- 8-5 装置納入後 1 年経過後の有償期間においても、故障が発生した場合は、速やかに故障部品の納入や補修を行うなどの措置を講じ、当研究所の業務に支障をきたさないようにすること。
- 8-6 当該装置が製造中止になったとしても、製造中止後 7 年間は装置の性能維持に必要な部品の供給を確保すること。
- 8-7 装置の性能維持に必要な部品の供給することができる工場を日本国内に有し、速やかな部品供給を行うことができる体制であること。
- 8-8 照明ならびに排気ファンについての日本語のマニュアルを各 1 部提出すること。
- 8-9 機械に関する危険性等の通知について規定している労働安全衛生規則第 24 条の 13 に基づき「残留リスク一覧」を提出すること。
- 8-10 本仕様書に定める以外の項目で疑義が生じた場合は、双方協議のうえで対応すること。

以上